## 04-04

子育で期女性の就労と家事の相互健康影響: 配 偶者や子の有無と仕事満足度

永谷 照男<sup>1)</sup>、日比野 稔<sup>2)</sup>、近藤 康明<sup>2)</sup>
<sup>1)</sup>名古屋市立大学 大学院医学研究科 公衆衛生学、<sup>2)</sup>国際セントラルクリニック

<u>目的</u>「働くことと健康に関する調査研究、http://www.med. nagoya-cu.ac.jp/kouei.dir/moku%20sinkou.html」は子育で期女性を7年間追跡し、就労と家事が生活習慣や健康指標に与える影響の評価を目指す。今回、配偶者や子の有無と仕事満足度との横断的関連を示す。 資料は健診成績と面接問診より.

対象者 同意を得た健診受診女性 5,737名のうち、25-49歳の有職者から「同意撤回者、重複者、妊娠中、休職者、対象資料欠損者」を除く 4,077名。 ⇒ 配偶者と子の有無で 5 群に分類。 1) S 0: 単身・子なし、2) S 1: 単身・子あり、3) M 0: 有配偶・子なし、4) M 1: 有配偶・子あり(末子年齢<6歳)、5) M 2: 有配偶・子あり(末子年齢<6歳)、5) M 2: 有配偶・子あり(末子年齢<6 表)、6 及群 n=1996, 166, 705, 359 and 851 名.

満足感 職務 (仕事内容) と 処遇 (給与・身分) の満足度を 4択質問「1:不満、2:やや不満、3:まあ満足、4:満足」で訊ね、4 の選択者を「満足」。各々の満足者数(率)=540名(13.2%)、350名(8.6%).

<u>就労時間</u> 1日就労時間と1週就労日数から1週就労時間を求めた。平均(SD)=38.3(11.6) h/w.

<u> 共変量</u> 6項目 1]年齢: 5群-5歳間隔、平均(SD)=38.1(5.6)歳. 2]BMI: 4群-4分位、平均(SD)=20.8(3.0) kg/m². 3]治療中疾病: 2群-無/有. 4]飲酒: 3群-週alcohol量が 0/≤25/25<g/w. 5]喫煙: 3群-非/既/現. 6]運動: 3群-週運動時間が 0/≤100/100< m/w.

統計処理 全共変量を含む logistic regression analysis で対象 者 5 群別の「満足」odds ratio (OR) と 95%CI を算出.

<u>結果・考察</u> Table 参照 (職務のみ)。 S0, S1, M0, M 1 and M 2 各群の平均就労時間(SD) は、43.4(7.4), 40.5(9.1), 38.4(11.2), 32.4(10.9) and 28.3(13.0) h/w。各5群の満足OR(95%CI) は、職務では 1.00(ref.), 1.75(1.07, 2.77), 1.69(1.30, 2.20), 2.83(2.08, 3.83) and 2.23(1.71, 2.90)、処遇では 1.00(ref.), 1.89(0.99, 3.36), 2.15(1.55, 2.96), 4.08(2.83, 5.86) and 2.85(2.05, 3.96)。 S 0群 (単身・子なし) は就労時間が最長で、職務、処遇とも満足度が最低。他方、M 1群(有配偶・6歳未満の子あり) は、職務、処遇とも満足度が最高。家族構成が就労時間や仕事満足度に影響する.

附 A) 名古屋市立大学 大学院医学研究科 医学系研究倫理審査 委員会の承認ずみ (No. 359-4). B) 研究費: 三菱財団、日本健 康増進財団、ヘルス・サイエンス・センター、愛知健康増進財 団の助成金と文科省科研費. C) COI: none.

Table. OR(95%CI) for satisfaction of job duty by 5 groups of women

women-		satisfaction of job duty		
groups	n "	yes	%	OR (95%CI)
total	4,077	540	13.2	YUD.
S0	1,996	185	9.3	1.00 reference
S1	166	24	14.5	1.75 (1.07, 2.77)
MO	705	103	14.6	1.69 (1.30, 2.20)
M1	359	75	20.9	2.83 (2.08, 3.83)
M2	851	153	18.0	2.23 (1.71, 2.90)

adjusted for age, BMI, drinking, smoking, exercise and present disease